

津田かおり

VOL 7 2021 夏号 通信



6月議会では、以下の内容で一般質問を行いました

- ・孤独・孤立対策
- ・女性支援
- ・防災対策

新型コロナウイルスワクチン接種がはじまり、収束への期待が高まっています。しかし感染者数の増加、変異ウィルスの出現、そして相次ぐ自然災害の発生など、私達を取り巻く環境は、時々刻々と変化しており、迅速かつ柔軟な対応が求められています。さらに市民の皆様の声を聴き、市政に反映すべく走りぬいて参ります！

孤独・孤立対策

市民相談件数 700 件超えました

(2019 年初当選より)

公明党

断らない相談支援を政府に提言
法改正をリード

2020 年 6 月に改正社会福祉法成立
今年 4 月から施行

「重層的支援体制整備事業」を創設

1. 包括的相談支援事業

相談者の属性・世代に関
わらず相談を受け止める

2. 地域づくり事業

住民同士の助け合い
などを促進する

3. 参加支援事業

多様な社会的つながり
づくりを促進する

福井市は、まずここに取り組みます！

背景：複雑な悩み事が増加し、社会的孤立が深刻化

8050問題



80代の親が
50代のひきこもりの
子を世話

ダブルケア



育児と介護を
同時に担う

ひとり親の困窮



子どもを抱え、
不安定な働き方

従来の行政は……
生活困窮や介護、子育て、
障がいなど縦割りの窓口で
たらい回しに



生活に関するどんな悩みごとにも受け止める包括的な支援が必要

自立サポートセンター「よりそい」を拡充し「福祉相談総合窓口」を新たに設置します。(来年度開設予定)

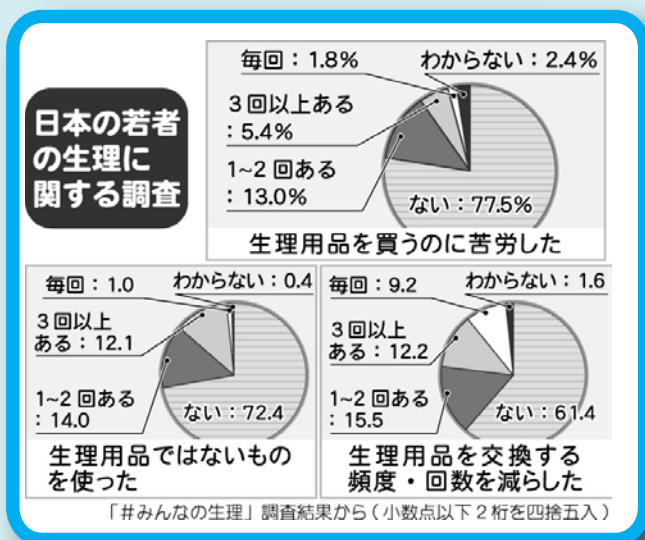
市役所庁内に常設されているハローワークの窓口のように、フェニックスプラザ内にある社会福祉協議会の機能の常設を提案しました。(検討中)

女性支援

生理の貧困対策の推進

コロナ禍により、経済的な事情から生理用品を十分に用意できない「**生理の貧困**」が全国的な問題になっています。公明党は、この問題にいち早く取組み実態を調査、本年3月の国会で政府に対して、**学校での無償配布などの対策を政府に求めました**。この動きと平行して、**各地方議会でも公明党による取組みが進められています**。

- ・小中学校の女子トイレに生理用品が常備されます。
- ・「自立サポートセンターよりそい」で希望者に提供されます。



防災ステーションを訪問し、備蓄中の生理用品を確認したところ、大半が10年前のもので、経年劣化により提供が難しい状態でした。

今後は、メーカーの推奨期限（3年）をメドに入れ替えていきます。また交換したものは、学校等に配備していきます。（現在備蓄中の期限を過ぎたものは、廃棄せず、簡易トイレの吸収材等として有効活用していきます。）

不妊治療の支援

不妊治療をしている人が、増えています。「**子育てファミリー応援企業**」の登録基準に、**不妊治療の休暇制度や生理休暇を加えるよう要望しました**。

死産・流産後の女性への支援

全国で、年間2万人近くの赤ちゃんが、流産・死産で亡くなっています。流産は、約15%～20%・死産は2.1%の確立で起こっています。

無事に出産できると産後のサポートはたくさんありますが、流産・死産の場合は、母子保健の仕組みの対象外となる冷たい現実があります。赤ちゃんを失っても、身体は出産した母親とほぼ同じ状態です。現在運用されている本市の「**産後ケア事業**」の対象に、**死産・流産を経験した方も、支援の対象に加えるよう要望しました**。



防災対策

新たな避難情報変更の周知

これまで「避難勧告」と「避難指示」の違いが十分に理解されていなかったため「避難勧告」を廃止し「避難指示」へと一本化されました。（右表参照）

市のホームページ・市政広報・ケーブルTV等を通じて周知していますが今後もSNS等も活用し、市民の皆様に繰り返し周知していきます。



6月議会動画

避難支援プランの推進 （右表参照）

災害弱者の避難支援プランの作成を加速し、いざというときの犠牲者ゼロを目指して行くよう要望しました。

「個別避難計画」の概要

高齢者や障がい者など自ら避難することが難しい「避難行動要支援者」ごとに避難の流れなどを記載した計画（作成には本人の同意が必要）

主な記載項目

- 避難行動要支援者の氏名、住所、連絡先
- 避難支援が必要な理由
例：「立つことや歩行ができない」など
- 避難を支援する人や団体などの名前
例：民生委員、自治会、自主防災組織など
- 避難先の場所、経路、移動する際の注意事項
- 避難支援で市町村長が必要と認める事項 など



コロナ禍による避難訓練への対応

地域の実情を取り入れて、自主防災会を対象とした研修会の開催が予定されています。

子ども医療費助成年齢が引き上げられます （来年度中の制度拡充を検討）

現在、小学1年～中学3年生の自己負担は、入院は一日500円（上限4,000円/月）通院は一ヶ月あたり500円となっていますが、これが高校3年生に引き上げられます。

43 二の宮1丁目道路路肩補修

道路の幅員が狭く、路肩が崩れていて、危険でした。



安心安全の まちづくり

45 順化1丁目道路再補修

凹みを一度補修しましたが、再び陥没したため、抜本的に補修しました。



47 本堂町道路騒音対策工事

車が通るたびに、溝蓋から衝撃音が発生していました。



地域実績マップ
QRコード

グーグルマップから
場所がわかります。



「ご遺族サポートコーナー」ができました

大切な家族を亡くして、悲しみが癒えぬまま様々な窓口を巡って届けを出すのは、大変な心労をとまないます。

遺族への負担を少しでも軽くするため公明党として「専用窓口」の設置を要望していました。

6月より本格運用されています。



46 二の宮4丁目道路陥没補修



市民の皆様から地域に対するご要望・ご相談に速やかに対応させていただきます！



〒910-0065
福井市八ツ島町 15-1-4

電話・FAX 0776-92-0686

E-mail kaoritsuda2018@yahoo.co.jp



LINEでも
お気軽に！



ホームページ
をご覧ください

